



京林大だより

No.71



第8回林大祭を開催しました

昨年の12月3日(日)に、地域及び林業関係の皆様と林業大学校との交流を目的とした「第8回林大祭」を開催しました。

今回は、学生が山で集めてきたツルや松ぼっくりを利用したクリスマスリース作り、手作りの丸太椅子やまな板等の木工品販売、地域の商店等による模擬店等を行いました。

同時開催として、「ミニ学校説明会」も行い、申込制で学校概要の説明や施設案内を実施しました。

途中、雨が降り出す場面もありましたが、地域の方々をはじめとする300名以上の方にお越しいただき、会場内はとても賑わいました。

子どもたちにも、ロープアトラクションやミニパターゴルフ、樹木ラリーなどを楽しんでもらえ、あちこちで笑い声が聞こえてきました。

ご来場いただきました皆様、運営にあたりお世話になりました皆様に心より感謝申し上げます。

(模擬店等協力者：「MADOI」、「七福堂」、「樹々の会」、「角屋」、「南国電波キッチンカー」、「ヤキイモマン」
「森の力京都株式会社」、「京丹波森林組合」(順不同、敬称略))



クリスマスリースづくり



フランクフルトの販売



木のパターゴルフ



木工品の販売

京丹波

「わくわくサイエンス 2023」

に参加しました！

京丹波町内の小・中学生等が自然や科学と触れ合う「わくわくサイエンス2023」が、12月3日(日)午前、京丹波町産の木のおい漂う京丹波町役場で開催され、林業大学校も木材の体験型展示ブースを出展しました。

林大の学生が授業で伐採した木の年輪を数えたり、ヒノキのおいを嗅いだり、木材の種類によって重さの違いを体験するなど、五感で木材を体感しながら、来場者の森林・林業への理解促進を図りました。

会場では林業大学校の学校概要等の説明や同日開催の「林大祭(学校祭)」についてもPRしたところ、林大祭へ参加される来場者もあり、林大のPRにつながりました。

【わくわくサイエンス2023の概要】

- 主催 京丹波理科だい好き倶楽部
(共催：京丹波町教育委員会)
- 来場者 約300名(全体)
林大ブースへの来場者：約40名
- 内容 年輪数え、木材の重さ比べ、ヒノキのおい体験、積み木遊び 他



【標本でのおい
や重さの違い
を体感】



【積み木
遊び】

今月の授業参観

『三林大交流会』

11月16日、17日の2日間「全国林業大学校対抗伐木選手権大会(三林大(長野・岐阜・京都)交流会)」が長野県内において行われました。

この大会も9回目となり、本校からは2年生15名が参加しました。初日は開会式とオリエンテーリングを行い、2日目はチェーンソーの操作や手鋸による伐倒などの技術を競いました。

本校の結果は2位で、優勝は長野県となりましたが、全員が競技に奮闘しました。

他校との交流を図ることができ、今年卒業する2年生同士のつながりが深まる良い機会になったと思います。次年度は京都府が開催地となる予定です。



校長室より

年頭のごあいさつ

校長 柴田 繁

年頭のごあいさつを申し上げる前に、この度の令和6年能登半島地震や羽田空港での航空機の衝突事故により、お亡くなりになられた方々に対しまして、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災、負傷された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

改めまして、新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと、心よりお祝い申し上げます。平素は、京都府立林業大学校の運営につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、京都府におきましては、今後の農林水産行政を中長期的な視点から計画的かつ総合的に進めるため、「京都府総合計画(期間：令和5年4月～9年3月)」における農林水産分野の目指す姿や施策の方向性を体系化・具体化する「京都府農林水産ビジョン(令和元年12月策定)」に

ついて、策定後の情勢変化を踏まえて令和5年3月に改定しました。

このビジョンでは5つの重点戦略を位置づけており、戦略4の「人づくりの裾野を広げ、産業・地域を支える多様な人材を育む」に基づき、農林水産産業を牽引する人材を確保・育成するとともに、多様な人材へのサポートと若い世代に向けた魅力発信により、担い手の裾野を広げていくこととしております。

林業大学校では、昨年12月に開催いたしました「第8回林大祭」や「わくわくサイエンス2023」において、林業機械やチェーンソーなどの体験、更にはクリスマスリースづくりや積み木遊びなど木との触れ合いを通して、森林や林業への理解を深めていただくとともに、木の魅力について体感いただきました。

今後も、ICTなど先端技術を活用した授業など、時代のニーズに応じたカリキュラムの充実により魅力ある学校づくりに取り組み、森林・林業の担い手確保・育成と、林業という仕事の魅力を発信していくこととしておりますので、地域の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。